慣用句(上級)プリント2（ルビつき）

月　　日　　名前 _____

問1　「腕に覚えがある」の意味はどれですか？

1. 体の一部に傷跡が残っている
2. 過去の経験をよく記憶している
3. 手先が器用で何でも作れる
4. 自分の技術や能力に自信がある

問2　彼女は（　）が軽く、誘えばすぐに遊びに来る。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 膝
2. 肩
3. 尻
4. 手

問3　「歯が浮く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. ドラマのキザなセリフを聞いて、思わず歯が浮く思いがした。
2. 宝くじが当たって、嬉しさのあまり歯が浮いてしまった。
3. 彼は歯が浮くような硬いパンを食べて、歯を痛めた。
4. 歯が浮くほど一生懸命に勉強して、試験に合格した。

問4　「腰砕け」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 腰砕けの椅子に座ると、姿勢が悪くなるので注意が必要だ。
2. 意気揚々と議論を始めたが、反論されて腰砕けになった。
3. 転んで腰砕けになり、病院へ運ばれた。
4. 重い荷物を持って歩いていたら、腰砕けになってしまった。

問5　才能ある若者の（　）を摘むような発言は慎むべきだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 葉
2. 花
3. 根
4. 芽

問6　「見得を切る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 見た目を良く見せようと、無理をして高級な服を買って見得を切った。
2. 相手の親切な気持ちを断ってしまい、見得を切った。
3. テストで悪い点を取ってしまい、お母さんの前で見得を切った。
4. 役者が舞台 中央で力強く見得を切る姿に圧倒された。

問7　「肝が据わる」の意味はどれですか？

1. 物事の核心を理解して、落ち着きを取り戻す
2. 怒りが頂点に達して、冷静さを失う
3. 物事に動じず、度胸がすわっている
4. 非常に驚いて、心臓が止まりそうになる

問8　「面目を失う」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 部下の不祥事により、責任者である彼は面目を失った。
2. 面目を失うほど、彼は鏡を見て自分の顔を確認した。
3. 彼は長年の努力が報われ、ようやく面目を失った。
4. 新しい企画が成功し、彼はすっかり面目を失った。

問9　「猿芝居」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 舞台の上で猿芝居を披露し、拍手喝采を浴びた。
2. 彼らの見え透いた猿芝居には、誰も騙されなかった。
3. プロの役者による猿芝居は、非常に見応えがあった。
4. 動物園で猿芝居を演じて、観客を大いに喜ばせた。

問10　「気が気でない」の意味はどれですか？

1. 何かに夢中になりすぎて、周囲が見えないこと
2. 自分の考えがまとまらず、混乱していること
3. 心配や不安で落ち着かない気持ちであること
4. 期待で胸がいっぱいになり、興奮していること

問11　「目がくらむ」の意味はどれですか？

1. 急におどろいて、その場で目を丸くして固まる
2. 欲望や強い刺激で正常な判断ができなくなる
3. 疲れがたまって、何もする気が起きなくなる
4. あまりの美しさに心を奪われて動けなくなる

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます